

平成11年10月(1999年) No. 406

## 2000年を機会に 会計年度を1月～12月に

会長 合原一夫

従来、OMC会計年度は10月から翌年の9月になっていましたが、秋は映像フェスティバルの準備や支払の件で何かと不便を困っていました。来年は西暦2000年といいます。この機会に、会計年度を1月～12月にすれば、フェスティバルも終了し、その年度最大イベントの事業決算も可能となります。また、総会を1月の新年会と兼ねることで、ゆったりと話し合いも可能になるなどの利点も考えられます。今まで話題としては上がっていましたが実行できずにいましたが、この2000年を契機に新会計年度を2000年度会計(もしくは平成12年度)としたいと考えておりますので、皆さんのご賛同をお願いしたいと思います。

なお、2000年度に限り、この10月から始まり来年の12月までの15ヶ月間とし、会費は従来のもので何とかやりくりします。2000年度は継続加入手続きをして頂けないのではないかという方が数名おられ、会費減は覚悟していますが、少なくとも例会にご出席の方は全員継続加入の手続きをお願いいたします。

### 10月例会と研究会のお知らせ

10月例会は23日(第4土曜日)18時より、阿倍野市民学習センターで開催します。凌ぎやすい秋の一夜、楽しいひとときを過ごしましょう。今月は会費納入月(1万円)です。よろしくお願いたします。■研究会は同日13時半より4時まで(その後プログラム発送の件などで世話役会を開きます)。未完成作品を中心に作品研究会を開催しますので、遠慮なく作品をお持ち下さい。お待ちしております。

## 例会のレポート

台風一過、秋来るといいたいところですが、どうして昼間はまだ30度を越す暑さ続き。それでも朝夕はめっきり涼しくなり、虫の声も聞こえるようになったので、季節は確実に秋本番へ向かっているようです。9月の研究会では熊野古道の各自の作品について1本1本丁寧に勉強会をやって、ドラマづくりに自信がついたところで、夜の例会の部に入りました。

今月の司会は関さん、書記・合原さん、デッキ係・渡辺、奥の両氏、受付兼照明係は増池さんの担当で例会を進行しました。休憩後の後半の部で、熊野古道撮影会作品コンテスト入賞者にトロフィー、記念品を、その他の出品者には努力賞を、更にいろいろお世話頂いた関、岡本の両氏にささやかながら粗品（DVテープ）を差上げました。

また今月から前田さんの提案でFOSTEXの超小型ミキサーを購入しました。各人の音声レベルにはかなり音量差があって、今まではテレビのリモコンで調整していましたが、画面にスライドボリュームが表示され、その都度不快な感じでした。これからはそれもなくスムーズに音量調節が可能になり、作品観賞も快適にできるものと思います。

### 9月例会出席者（順不同）

増池、森下、安居、安居良枝、奥、渡辺、関、前田、江村、合原、華岡、那須、高田、森口、藤原、有村、今井、末岡、森、金子、中尾、岡本、以上22氏（敬称略）

### ■上映作品（今月の短評は合原会長です）

1. 隧道（ずいどう） 末岡 健司さん 11分0秒  
前衛作品の部類になるのでしょうか、都会、田舎、お墓、草刈、お盆などの風景が次々に出てきます。そして最後にトンネルの中へ入っていった幻想の世界へと導かれ”早くお帰りなさい”という声が出て、作者の言いたいことが少し判ったような気もしましたが、少し構成に難解な点があったようです。もう少し整理して意図が第三者に伝わってくるような作品構成にされたら、これはこれで立派な作品になるように思うのですが。
2. 和光寺 増池 茂さん 4分35秒  
大阪市視聴覚教室での教材として、和光寺を撮影された由。大阪市内のビルの谷間にある寺という条件でありながら、しっとりとした雰囲気になうまく纏められています。但し、単なるスケッチに終わっているのは、ビデオ教室の宿命かもしれません。
3. 癒しを求めて 安居 良枝さん 6分0秒  
海遊館のクラゲが優雅な泳ぎを見せてくれます。イントロに都会の雑踏を入れて、くらげのゆったりした動きを対比させ、心理的な面を表現しようとしてされています。ねらいは良いのですが、癒しを求めるのが現代人という一般的な第三者なのか、作者自身なのか、或はクラゲそのものが、現代人のあくせくさを笑っているのか、主人公に少し曖昧さがあるように思いました。クラゲのアップが少ないとの指摘もありました。

4. 住吉大田楽 安居 利次さん 6分50秒  
2月例会での「新しい伝統芸能の定着」を再構成され、今回は若者の稽古の場面を多く取入れ、大田楽以外の画面をカットされているので、ぐっと判りやすくなっていると思います。
5. 嵐山・嵯峨野散策 奥 宏さん 9分0秒  
近頃の嵯峨野も人が多くなったなあ、という印象ですが、行きずりの人をうまく入れてまとめられています。が、外人の女とか鯉の場面など少しくどかったようです。観光風にまとめるのなら、場所の名前の判る看板などを入れるかテロップで説明するかの方がよい、という声もありました。
6. 朱い記憶 関 剛さん 5分50秒  
以前作られた作品を再度手直しされた作品とか。関さんならではの心象作品です。地蔵さん、朱の建物、赤い流れ、ダイナミックなBGMと共に朱のイメージを出しておられます。難しい題材だけに、私たち凡人ではとても真似の出来ない作品ですが、楽しく拝見させていただきました。
7. 花火芸術 江村 一郎さん 9分0秒  
PLの花火のことを主催者は「花火芸術」と呼んでいるそうです。さすがに日本一の花火といわれるだけに豪華な花火でしぼしぼりでした。しかし、花火だけで9分は如何にも長いという感じです。オーバーラップ等も入れて少したみこんで短くすれば良くなる作品だと思われま
8. 雑草都市 合原 一夫さん 8分0秒  
インド最大都市ニューデリー、西印度の港街ムンバイ（元ボンベイ）の大都会では、貧民層が必死で生きています。夜は軒下で寝て、道端で炊事するホームレス一家。昼間は雑踏の中でたくましく生きる民衆の姿をとらえたものです。撮影についてひとしきり話題となりました。
9. 日本三景 那須 典彦さん 9分3秒  
冬の松島、夏の花巻立、秋の厳島、と日本三景と云われる景勝地を撮影されたもので、那須さんらしく、きっちりとした絵づくりは安心して見ておられます。ですが、何かひとつモノ足りないという印象は免れません。この種の各地方の映像を1本に纏めるときは、何か共通の一本の芯が欲しいものです。祭り等は特にそうですが、唯よせ集めただけでは魅せられるものが湧いてきません。これはみんな共通の課題です。考えてみましょう。
10. 黒部・立山アルペンルート 高田 淳吉さん 8分0秒  
ご家族連れで行かれたときの記録だそうですが、せっかくのご家族連れの旅であれば、もっとご家族の楽しげな様子とか、はしゃぎ様などアップも入れてどしどし採り入れて構成した方が、我が家の記録としても、第三者が見ても共感の持てる作品になると思います。画面は綺麗でした。
11. 嵯峨野夏風景 森口 吉正さん 8分0秒  
奥宏さんと一緒に撮影に行かれた由、人力車をうまく使って画面転換に使うなど、テンポよく楽しくまとめられています。ひとしきり奥さんの作品との違いについて話題がつかせませんでした。

12. 萬福禅寺を訪ねて 有村 博さん 7分24秒

某クラブの撮影会で撮られた作品だそうです。女性モデルが最初登場して、これから寺に入ります、との言葉の後境内に入っていきますので、この女性が禅寺の説明などガイドをするのかと思ったがガイドは一切なしで何か肩透かしを喰った感じがしました。そうであればむしろモデルなしで構成した方が軽くなならないで雰囲気も出せたのではないかと思います。

13. 輪廻（りんね） 金子 博泰さん 4分53秒

「輪廻」とは仏教用語で、人はまわりまわって生まれ変わる、といった意味だそうですが、難しいテーマに取り組みましたものです。四天王寺が舞台で、輪を廻すところとか、万灯の様子などを撮られています。この作品を観ることで、み仏の教えが判ったような気になれば成功だと思うのですが、難しいですね。まあ、頑張って再挑戦してみてください。

以上で作品上映が終了し、例によって喫茶組と一杯組に分かれて散会いたしました。

■大阪アマチュア映像連盟の「映像祭」10月30日（土）  
をお忘れなく！

大阪市中心図書館との共催による映像祭は今年で早や3年目を迎えます。今年は「寝屋川映像協会」、「ビデオサークル堺」、「映像きしわだ」の3クラブが新しく加入され賑やかに開催されます。OMCからは合原、関、安居の3氏が出品しています。当日お手伝い頂ける方は11時までには会場へお越し下さい（裏の職員出入口から入ります）。

## 作品研究会で、ドラマ作品づくりの勉強会

9月例会は12名の参加者を得て、熊野古道撮影会作品について作者ごとに上映し、脚本演出された関世話役より親切なアドバイスと講評をいただきました。ドラマ作りは初めてという人が多く、編集の極意をデッキでコマ送りしながら、カッティングの要点について説明を受け、皆、納得した様子でした。例会では時間の関係で、ほとんど上映しっ放しが多いのですが、こうして1作品ごとに、たっぷりと時間を割いてディスカッションすることで、皆さんの作品づくりのウデも上がるのではと、研究会の成果を期待しております。

■10月の作品研究会テーマは自由作品です。ご参加をお待ちしています。

各自、どうまとめたらよいか判らないとか、アドバイスが欲しいとか、例会ではまだ上映出来ないが、研究会でまず見て欲しいとか、そういう作品をどしどしお持ち下さい。例会当日の13時30分から開催します、どうぞ。  
(合原 記)